

24

千代田区景観まちづくり重要物件

鷹岡（株）

指定日 2003（平成 15）年 6 月 9 日

所在地 神田須田町一丁目 3 番地

設計者 谷口忠

竣工 1935（昭和 10）年

文化財等
指定状況

-



▲鷹岡株（中央）

歴史・文化的特徴

周辺にはかつて万世橋駅があり、交通の要衝地として栄えました。建物の建つ交差点は、最も賑やかな繁華街のひとつでしたが、1943（昭和 18）年に駅が廃止されたことによって、かつての賑やかさが薄れていきました。鷹岡(株)の建物は、最も賑やかだった頃の商店ビル建築のひとつであり、その頃を象徴する建物として貴重な歴史的建造物となっています。

各階には、パイプを巡らせたエアシューター（気送管）装備があり、時代を大きく先取りした設計と言えます。

意匠・構造の特徴

1 階外壁は錆御影石張りの重厚な基壇であり、2 階以上は薄茶色のスクラッチタイル貼りという二層構造となっていますが、軒に帯飾りを施して引き締めています。

装飾が少なく規則正しい縦長窓の配置など、昭和モダニズムを象徴するような外観のシンプルさが特徴的です。



低層部の質感▶

周辺景観との関係

三本の道路が交差する交差点の角地に立地し、視認性は高いです。

周辺には高層ビルも多いですが、石積み風の重厚な雰囲気とスクラッチタイルの素朴な色合いの調和により、現代建築群の中で際立つ個性をアピールしています。